

調査事業の概要

ユニバーサルツーリズムの普及・促進に関する調査

平成25年度の検討内容

1. 観光におけるユニバーサルデザイン化の取り組み

■ これまでの取り組み

17年度以前 (2005年)	18年度 (2006年)	平成19年度 (2007年)	平成20年度 (2008年)	平成21年度 (2009年)	平成22年度 (2010年)	平成23年度 (2011年)	平成24年度 (2011年)	平成25年度 (2012年)	
ユニバーサルデザイン政策大綱 (H17年) 交通バリアフリー法(H12年) バリアフリー法(H18年)		◎観光立国推進基本計画(H19/6) 「ユニバーサルデザインの考え方に 基づく観光の促進」					◎観光立国推進基本計画(H24/3)		
		◎観光のユニバー サルデザインガイ ドライン(H20/3)					旅行の送り 手にかかる 課題の検討	旅行の着地 側にかかる 課題の検討 ・モデル化	受入拠点の 強化、旅行 商品の供給 促進に向け た検討、旅 行による効 用の検証 等
ユニバーサルデザインの考え 方に基づく観光促進検討会		◎観光立国推進基本計画(H19/6) 「ユニバーサルデザインの考え方に 基づく観光の促進」			◎観光庁発足(H20/10)				
		◎シンポジウム(ユニバーサルデザインの 考え方に基づく観光促進シンポジウム) (H21/3)						◎ シンポジウムの開催	◎

■ 観光立国推進基本計画(平成24年3月)

第3 観光立国の実現に関し、政府が総合的かつ計画的に講ずべき施策

3. 政府全体により講ずべき施策

3-5. 観光旅行の促進のための環境の整備

(三) 観光旅行者の利便の増進

① 高齢者、障害者、外国人その他の観光旅行者が円滑に旅行できる環境整備

平成26年度(2013年)

受入拠点づくりの普及促
進、ユニバーサル旅行商
品の供給促進 等

(ユニバーサルデザインの考え方に基づく観光の促進)

観光産業だけでなく、地方自治体やNPO、他の産業等の幅広い関係者による協力のもと、高齢者や障害者が安心して参加できるユニバーサルツーリズムを促進するため、関係者間において地域における先進的な取組や課題解決に向けた取組を共有し、それぞれが段階的に向上していくための仕組みを平成24年度に検討し、その普及に向けた取組を行う。

2. 平成25年度調査の目的

高齢者・障がい者等の移動制約者を含む誰もが旅行を楽しむことができる環境を整備するため、地方自治体、NPO等の幅広い関係者の協力の下、地域の受入拠点づくりを進めるとともに、旅行商品の造成・普及のための取組を実施し、ユニバーサルツーリズムの更なる普及・促進を図る。

具体的には、公募により選定した受入拠点における強化策を行うことで、地域の取組み方の普及に繋がる受入拠点づくりマニュアルを作成するとともに、旅行商品としての認知度向上、商品供給促進等に資する取組みを検討する。

また、旅行がもたらす健康増進等の効用調査、シンポジウム等を通じて、ユニバーサルツーリズムの更なる普及・促進を図る。

(1) 地域の受入体制の強化

① 地域における受入拠点の選定

◆ユニバーサルツーリズムの受入拠点となり得る組織を公募し、選定委員会により対象となる組織(地域)を選定する。

② 受入拠点の強化

◆①で決定した組織が所在する地域において、受入体制の強化に向けた事業を行う。

[事業策] バリアフリー等の現状調査、モニターツアー受入、情報発信、アドバイザー派遣 等

③ マニュアルの作成

◆②の結果や先進的取り組んでいる地域の事例も踏まえ、今後の地域におけるユニバーサルツーリズムの受入拠点づくりの普及に繋げるためのマニュアルを作成する。

3. 検討内容

(2) 旅行商品の供給促進に向けた検討

- ◆ 高齢者や障がい者等を対象とした旅行商品の供給促進、並びに旅行者が安心して旅行商品を利用出来るための仕組みについて検討する。

[検討内容] 利用者ニーズの把握、海外・国内事例調査、ヒアリング調査

(3) 旅行による効用の検証

- ◆ 旅行がもたらす旅行者個人の健康増進に関するデータを収集・整理・分析し、旅行による効用を「心」「行動」「身体」の変化ごとに体系的に整理する。

[調査方法] アンケート調査およびヒアリング調査

[対 象] ・モニターツアー参加者、

・過去に旅行経験がある高齢者および障がい者 等

(4) シンポジウムの開催

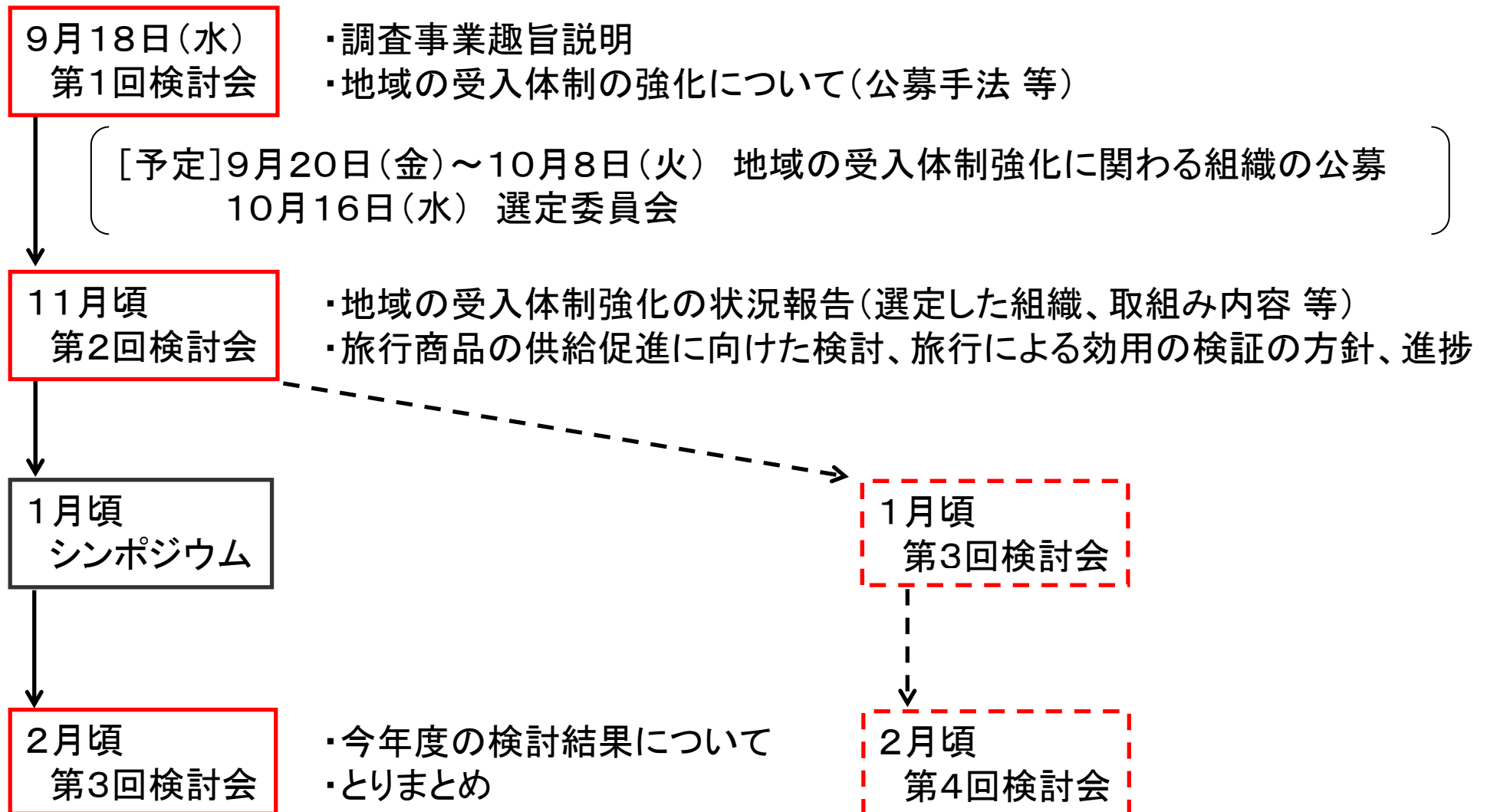
<開催概要(案)>

趣 旨：ユニバーサルツーリズムの普及・促進に資するとともに、地域における受入強化に向けた意識の醸成を図る

対象者：旅行業者、宿泊業者、NPO法人、福祉団体、自治体、観光協会、有識者を中心とした関係者全般

内 容：講演・事例報告、パネルディスカッション 等

5. スケジュール (案)



6. 本日の論点(ご確認・ご意見頂きたい事項)

1. 本年度の調査事業の内容について(留意点、配慮すべき事項等)

- ◆地域の受入体制の強化方法(マニュアル作成 等)
- ◆旅行商品の供給促進に向けた検討
- ◆旅行による効用の検証(調査方法、収集データ 等) 等

2. 地域の受入体制強化に向けた公募内容(案)について

- ◆公募要領(公募の方法、内容 等) 等